

わくわくイベント報告



11月に東京モバイルプラネタリウム様にご協力いただき『移動プラネタリウム』を開催しました。移動プラネタリウムとは、ドーム型のテントに空気を送り込み、その中でプラネタリウムを楽しむものです。

当日は6~8人ずつプラネタリウムドームに入った後、椅子に座ってゆっくり星空を鑑賞しました。ドームにあまり入る機会がない方も多く、入る際に漏れる空気を感して「ワ~!!」とテンションが上がる方もいらっしゃいました。皆様、普段味わえない空間を満喫され、ドーム内に映っている星空を見て「綺麗」と声に出して喜んでいらっしゃいました。また、壁にも沢山の天体写真を展示し、ドームに入るのを待っている間にも見て楽しんでいただきました。

今後も利用者の皆様が、普段味わえないような「わくわくする」体験イベントを企画していきたいと思えます。(記：水谷)



職員紹介

1月に新しい職員が仲間入りしました!!



3グループ ^{きくち みか} 菊池 美香 非常勤支援員

1月から福祉園 3グループに配属になりました菊池美香と申します。安心安全を第一に考え、利用者様が笑顔で過ごせる様、しっかり見守り、支えたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

お知らせ ~information~

★春季休園日

3月29日(金)~4月1日(月)

★その他

3月19日(火) 全体連絡会



※広報誌における写真や記事は、個人情報保護法に基づき、ご本人、およびご家族の同意の上で掲載しています。(広報担当：神野・熊田・迫・荻島・水谷・宮路)

副主任から



NO. 180
令和6年3月18日発行
発行者：神明福祉園
発行責任者：照井智幸
住所：〒121-0057
足立区神明南2-6-18
神明障がい福祉施設内
電話：03-5682-5370
FAX：03-5682-5665

草木の新芽が萌え出す頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度も残りわずかとなり、新年度に向けての期待と不安を抱いている方も少なくないと思います。また、新型コロナウイルスも5類へと移行し、もうすぐ1年が経過します。制限のある生活が続いていますが、福祉園内での活動もこれまで同様に出来ない事も多くあり、その時々状況に合わせて活動を工夫して取り組んで参りました。しかし、令和5年度を振り返って考えてみると、「あれが良かった」というよりも先に「もっと工夫が出来たのではないか」と反省点を考えてしまいます。後ろ向きに考え過ぎる必要はありませんが、より質の高い支援を行う為には「今の現状に満足しない」、「当たり前なことを当たり前と感じない」等、意識を高く持って日々を送る事が必要なのかなと思います。

来月には新年度となりますが、神明福祉園の目標である「安心・安全・楽しい福祉園」の目標が達成されるように、支援員が一丸となって取り組んで行けたらと思っています。次年度も神明福祉園をどうぞよろしくお願い致します。(記：木村)



研修報告

~嘔吐物処理対応~

ノロウイルスなどの感染性胃腸炎が流行する前に、感染予防対策の一環として「嘔吐物処理研修」を行いました。施設では嘔吐物や排泄物を処理する際は、基本的に感染の可能性のあるものとして取り扱います。感染の拡大を防ぐためにも、正しい処理ができるよう注意点や手順を確認しながら研修を進めていきました。

研修では、トロミのついた色水を口の高さからこぼして片付け・処理をしましたが、思った以上に遠くまで飛び散り、片付けに手間取った職員もいました。しかし、繰り返し行っている事で年々手際が良くなってきているように感じます。実際の場面を想定して、「車椅子に乗っている時に嘔吐したら?」「マットに下りている時には?」「洋服が汚れてしまったら?」「一人で対応できる?」等々意見が出ていたので、次回はより具体的に場面設定をして研修を組み立てていきたいと思えます。福祉園は安心して通所できると皆様に言っていただけるよう、これからも一層感染対策に力を入れてまいります。(記：小林)



参加職員の声

- ・感染を広げないために、定期的に研修を行いたいと思った。
- ・実際に嘔吐場面の対応に入った時、研修の内容を落とし込めていないと自分自身が感染するリスクが高いと思った。とても大事な研修だと感じた。

クリスマスイベント報告

～スリーピース～



12月21日・22日に神明障がい福祉施設全体での合同イベントを行いました。題して『スリーピース』です。イベント名の公募を行い、利用者・支援員の皆さんからいただいた沢山の候補の中からその名に決定しました。神明障がい福祉施設の特徴である多機能型事業所を表すと共に、パズルのように地域の方をはじめ、様々なコラボによる無限の可能性という意味も込められています。

このイベントを起ち上げた目的は、①コロナ禍で楽しみが減ってしまった利用者の方に、楽しみを提供すること、②事業所の枠を超えた利用者の方同士の交流を行って頂くこと、③「全員参加」で一体感・達成感を感じて頂くことでした。そのために臨時の実行委員会を立ち上げ、今回は「クリスマス」をテーマとし、Nintendo Switchを使ったゲーム体験とケーキバイキングを行っています。

Nintendo Switchは今後も各グループの活動で使用出来るようにし、新たな楽しみを提供していきたいと思っています。ケーキバイキングでは、焼きプリンタルト、溶けないアイス抹茶、ストロベリーケーキ、塩キャラメルケーキ、エクレアの5種類から選択して頂きました。ケーキを提供するにあたり、毎日おいしい食事を提供して下さっている一富士フードサービス様にもご協力頂きました。また、他利用者にケーキや飲み物を渡すお手伝いをして頂ける利用者の方を募集し、アルバイト体験を行って頂きました。支援員手作りの制服も準備し、イベント開始前に支援員と一緒にミーティングを行い、挨拶の練習や動きの確認をしました。その他では、輪にした段ボールを積み重ねて作ったクリスマスツリーや、利用者の皆様の写真を使用したガーランドなど施設内の装飾を施設みんなで協力して作成しています。

いよいよ迎えた当日ですが、Nintendo Switchでは、チャンバラゲームで職員が扮したサンタクロースや雪だるまと対戦して頂きました。「がんばれー！」など大きな歓声も上がり大いに盛り上がりました。ケーキバイキングでは「こんなにケーキがいっぱいあると思わなかった」「美味しかった」という声が聞こえ、満足そうな表情をされていました。また、アルバイトの方々は楽しそうな笑顔と、やる気に満ちた声で挨拶をして下さったことが印象的でした。

企画から当日まで約半年間という限られた期間でのイベントでしたが、様々な方のご協力もあり、皆様に楽しんで頂いたイベントになったと思っております。今後も施設全員の喜びと笑顔が溢れるイベントを行っていききたいと思います。

(記：橋本)

